



Chapter III

回路図を描いて部品表を出力する

部品の種類や接続を示す神樣的な仕様書

渡辺 明禎 Akiyoshi Watanabe

Chapter IIIでは、Chapter IIで用意した部品マクロを呼び出しながら回路図データを作ります。EAGLEに慣れると、USBオーディオ・デコード回路ぐらいの規模なら短時間で作業が終わります。付録CD-ROMに収録されている操作ビデオ・ファイルも参照してください。

STEP1 回路図を描く

STEP2 回路図の仕上げと部品表の出力

Chapter III 回路図を描く STEP 1 Symbol データを呼び出しながら

図1(右ページ)に示すのは、このSTEP1のゴールであるEAGLEで作成したUSBオーディオ・デコード

基板の回路図です。ここでは、回路図データを作る方法を順を追って説明しましょう。

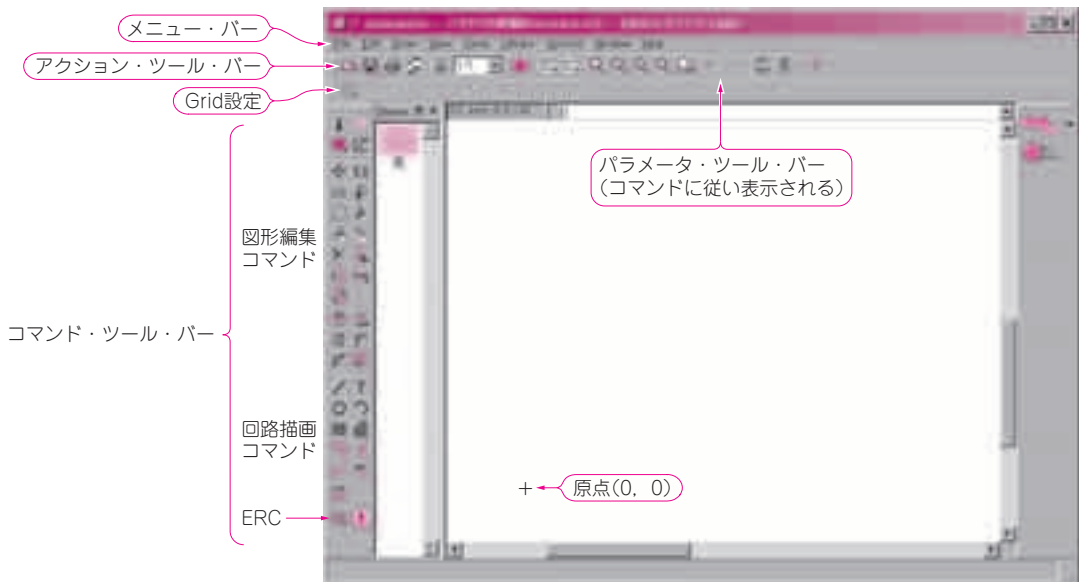


図2 手順1 Schematic(回路図)エディタを起動する